

# 廃棄物処理と製造現場の役割

基礎コース

ものづくりの結果として排出される廃棄物の処理は、貴重な原材料を費用をかけて廃棄することですが、企業の中には、適正処理だけでなく、廃棄物の低減のため3R（Reduce、Reuse、Recycle）に取り組む、コスト低減や製造工程の合理化等大きな成果をあげているところがあります。

いずれもキーとなる製造現場がその役割を果たすことが重要で、廃棄物処理の仕組みの中でそのことについて分かり易く説明致します。

## プログラム

**対象** ものづくり現場のリーダー  
(中核人材)の皆様  
経験年数5～10年程度

**定員** 30名

**時間** 13:30～16:30 3時間  
(9:00から受付)

**日程** 平成28年 5月26日(木)

**会場** 岐阜工業高等専門学校  
図書館 多目的ホール

### 研修後のフォローアップ

研修後、ご希望により、逆スクーリング制度（フォローアップ）を実施します。

講師が受講者の現場を訪問し、直接指導を行います。（有料）

1. 廃棄物処理の目的、用語
2. 廃棄物処理のキーは製造現場にあり
3. 廃棄物の排出実態の把握が第一歩
  - 1 廃棄物と有価物
  - 2 一般廃棄物、産業廃棄物とは
  - 3 廃棄物の種類、量の把握
4. 産業廃棄物を適正に処理するには
  - 1 産業廃棄物の保管基準
  - 2 産業廃棄物の収集運搬・処分基準
  - 3 産業廃棄物処理における事故事例
5. 産業廃棄物の適正処理を委託するには
  - 1 処理委託基準の順守
  - 2 適正な処理業者の選定
  - 3 処理委託契約の締結
  - 4 マニフェストで適正処理を確認
  - 5 法令による届出事項
6. 社内体制の整備
  - 1 全社的な体制の構築と製造現場の役割
  - 2 廃棄物低減活動事例

### 講師紹介

三口 榮一

自動車部品メーカーにて、長年地域環境対策に取組み、その対象は水質、騒音、土壌、地下水、廃棄物と幅広く、実態の把握から対策実施・管理までの実務を経験し、法規や技術・方法に豊富な知識を有している。環境対策について広く支援することができる。